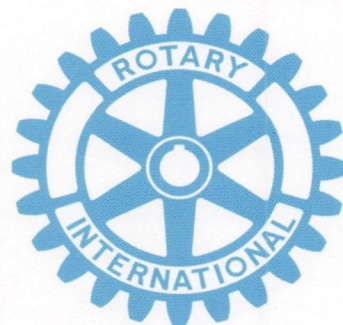


R.I.D.2660 INTERACT
ANNUAL REPORT
(2018-2019)

SCRUM

~ No.44 ~

Interact
Rotary Sponsored Club



目 次

◆ 発刊にあたって	1
◆ 2017—2018 年度 新入生歓迎会報告	2
◆ 2018—2019 年度 海外研修報告	7
◆ 2018—2019 年度 年次大会報告	24
◆ 各インターアクトクラブ活動報告	36
清風学園 IAC	
大阪桐蔭中学校・高等学校 IAC	
浪速中学校・浪速高等学校 IAC	
四天王寺高等学校・中学校 IAC	
金光八尾中学校高等学校 IAC	
相愛中学校・高等学校 IAC	
大阪国際大和田中学校・高等学校 IAC	
高槻中学校・高等学校 IAC	
開明中学校・高等学校 IAC	
アサンプション国際中学校高等学校 IAC	
◆ 各インターアクトクラブ名簿	48
◆ ローテーション表	59
◆ 編集後記	60

《SCRUM No.44》 発刊にあたって

スクラムの発刊にあたり、各学校で行っておられるインターアクトクラブの活動報告と、新入生歓迎会・海外研修・年次大会などの報告文章を寄稿していただきインターアクターの皆様、顧問の先生方に心より感謝を申し上げます。

本年度は、皆様の仲間として、アサンプション国際中学校・高等学校インターアクトクラブが創立され、本地区で10番目のインターアクトクラブが誕生しました。このことは、大変喜ばしいことであり、日頃皆様が一生懸命にクラブ活動を行ってきた賜物だと感じております。今後もインターアクトクラブ活動で学ばれた奉仕の精神を、世界の未来を担う人財の一員として、リーダーシップを持ってご活躍し、世界の発展に寄与するように努力をお願いします。

そしてこのSCRUMは、皆様が1年間に渡り交流事業や奉仕活動を行った、思い出の詰まった大変貴重な本冊です。いつの日も、このページを読むごとに多くの活動が善き思い出としてよみがえってくると思います。題名のNo.44と同時に44年間の歴史の中で、諸先輩が行ってきた各活動の継承と、皆様が真面目に取り組みをされた証となる一冊です。また、各活動にご尽力を頂きました、各学校顧問の先生方、関係者の皆様、山本ガバナーをはじめ多くのロータリアンの皆様、事務局の皆様にも心より御礼申し上げます。SCRUMを編集・発刊の、ご担当頂きました、金光八尾中学校・高等学校インターアクトクラブの皆様、顧問の先生方にも厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

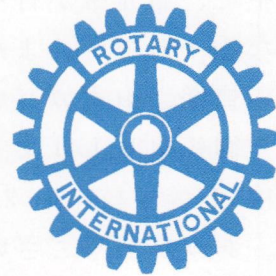
平成31年2月28日

国際ロータリー第2660地区
インターアクト委員会
委員長 中野 隆二

2017—2018 年度
国際ロータリー第 2660 地区

インターアクトクラブ 新入生歓迎会

Interact
Rotary Sponsored Club



日 時：2018 年 6 月 3 日（日）

場 所：相愛中学・高等学校 4 階 講堂

ホストクラブ：相愛中学・高等学校インターアクトクラブ

スポンサークラブ：大阪ロータリークラブ

国際ロータリー第 2660 地区 2017-18 年度
インターアクトクラブ新入生歓迎会 プログラム

目的：新たな地域の魅力を探しながらインタアクターの親睦をはかる
日時：2018年6月3日（日） 9:00 受付
9:30—16:00 解散
場所：相愛中学・高等学校 4階 講堂
住所 大阪府中央区本町 4-1-23 TEL 06-6262-0621

活動内容：「大阪再発見」グループごとの現地踏査と発表

プログラム

- 9:00 受付・点呼
- 9:30 開会式（4階 講堂）
- | | | |
|-------------|-----------------------|--------|
| 点鐘・開会宣言 | 相愛 IAC 会長 | 笠 真菜 |
| IAC の歌 斉唱 | ソングリーダー相愛 IAC | 浦島 菜那 |
| 開会の言葉 | RI 第 2660 地区ガバナー | 片山 勉 |
| | RI 第 2660 地区インターアクト委員 | 小浦 芳生 |
| 歓迎の言葉 | 大阪ロータリークラブ副会長 | 塩野 秀作 |
| 来賓・参加クラブの紹介 | 大阪 RC クラブインターアクト委員長 | 山田 惣一郎 |
- 10:10 ・現地探査前 注意と案内
・班分け
・班内で自己紹介、目的地の決定
- 10:30 現地踏査 出発
- 12:30 帰校
- 13:30 グループ発表（各 3 分）
- 15:30 閉会式・講評（4階 講堂）
- | | | |
|-----------|----------------------|-------|
| 講評 RI2660 | RI 第 2660 地区ガバナーエレクト | 山本 博史 |
| 閉会宣言 | 相愛 IAC 会長 | 笠 真菜 |
- 16:00 閉会

2018年 インターアクト新入生歓迎会 出席者一覧(2018.6.3)

	班	
ガバナー		片山 勉
パストガバナー		泉 博朗
ガバナーエレクト		山本 博史
ガバナーノミニ		四宮 孝郎

清風学園		
顧問		儀満 光治 森田 一義
中1	○	小池 祐太郎
	○	寒川 魁人
中2	○	木村 諭弥
	○	安達 賢豊
中3	○	石丸 空輝
	○	小島 知大
高1	○	芝原 諒馬
	○	主島 悠太
高2	○	徐 太介
		栗岡 賢誠
		原田 雄斗
		前田 峻輝
	○	池下 榮之助
	○	大谷 祥一郎
	○	川本 穂
	○	鈴木 陸斗
	○	関谷 隆明
	○	藤光 祐杜
大阪南RC		阿倉 雄大
		神川 慶祐
		桑田 康嗣
		図所 良太
		日比 功太
		矢田 隼也
		山下 瑠介口
		奥田 功太郎
		岩壺 拓真
		坂本 虎太郎
	○ 新谷 崇樹	
	伊藤 芳晃	
	木下 仁湊	
	早瀬 祥人	

大阪桐蔭		
顧問		仲谷 浩一 浦木 道史 山西 啓太
高1	○	塙 優真
	○	百地 諒馬
	○	宮崎 海光
高2	○	野村 脩貴
		池山 美晴
大東RC		島田 花菜
		土本 千鶴
		橋本 正幸
		佐藤 多加志
		木村 克己
		中野 秀一
		東村 正剛
		中嶋 啓文
		空門 満也
		森岡 信晶
	中野 隆二	
	西山 潤一	
	森田 武雄	

浪速		
顧問		伊藤 富樹 田井 香織
高1	○	平子 咲希
	○	山本 美月
	○	鈴木 将真
高2	○	藤井 魁
		石井 叶大
		島田 穂
		西浦 ちえり
高3		服部 爽乃
		松村 実紅
		山形 奈槻
		藤浪 稜馨
		木瀬 敢太
大阪帝塚山RC		八木 風雅 片山 一步

金光八尾		
顧問		森 祥太郎 前田 裕子 安藤 美帆 山吹 せりな
高1	○	石井 洸大
	○	山本 温人
	○	迫田 和加奈
	○	福中 綾乃
	○	芝内 風旗
	○	井谷 春菜
	○	川合 遥
	○	中原 愛礼華
	○	藤田 沙香
	○	小阪 直輝
高2		阿部 亜美
		翁坂 敦士
		熊谷 健
		清水 佑祐
		道家 颯将
		古角 和詩
		豊海 宏二郎
		今西 美優
		竹内 和穂
	○	星島 瑠奈
高3		岩本 有加
		柳 美初
八尾RC		浜田 佳奈
		田中 康正
		野村 俊隆
		大槻 恭介
		富田 宏 吉田 法功

相愛		
顧問		若生 哲 福迫 司 元谷 沙織
中2	○	宮崎 瑞姫
	○	荒木志乃
	○	楠美 凜
中3		小山 侑沙
		井上 萌春
高1		野田 祐那
	○	小中 凜
高2		森岡 風果
		小西 彩香
高3		浦島 奈那
		村田 都
大阪RC		奥田 雛子
		小松 磨未子
		笠 真菜
		山田 惣一郎
		塩野 秀作
	小浦 芳生	
	井戸 剛	
	岡橋 克純	

大阪国際大和田		
顧問		松川 稔 片山 徹
高1	○	牧 彩奈
	○	三島 愛香
高2		田中 沙季
		藤原 楓
		福島 由唯
		山口 楓華
		杉山 裕香
		今城 沙友理
		鞍留 瑞季
		茶谷 明日香
		福田 治夫
	守口イブニングRC	

四天王寺		
顧問		岡 宏治 梶本 康子 松本 真奈 岡崎 玲奈
中2		西原 彩夏
		木村 紗
高1	○	吉田 明里
	○	外山 瑠那
	○	吉野 瑳記
	○	稲上 陽菜
	○	片桐 礼捺
高2	○	乾 叶佳
		小室 実央
大阪天王寺RC		山田 彩加
		羽賀 順一
		金本 恒二郎
		水取 孝司
		西浦 誠二
		谷野 清孝
		土屋 篤
		津留 正孝
		松本 隆司

高槻		
顧問		田中 敏博
中2	○	熊崎 愛
	○	蔵田 ヒカリ
中3		柳 蒼太
		三井 育俊
		張 東海
		佐治 秀真
	○	黒田 慶生
高2	○	高野 由暉
	○	讃井 裕人
高槻RC		村上 輝直
		小阪 大輔
	内本 繁	
	朝倉 通憲	

開明		
顧問		三本杉 博美
中2		北川 瑞葉
		向井 美琴
中3		岡本 士
		西川 拓志
		森山 輝
高1	○	矢鋪 廉
	○	安田 彩瑛
大阪中之島RC		池本 里奈
		辻 義光
大阪東RC		井本 万尋
		杉村 雅之
	廣田 雄一	
	能勢 孝一	

アサンプション国際		
顧問		松平 麻也
中1	○	川端 香佳
中3	○	大村 初
高1	○	古淵 日菜
池田くれはRC		田中 隆弥
		高原 誠一郎

ローターアクト		三窪 真由 中島 宏喜
---------	--	----------------

ガバナー事務局		井上 望美 加茂 春日
---------	--	----------------

ロータリアン	48
顧問	22
インターアクター	127
ローターアクター	2
事務局	2
合計	201

新入生歓迎会について

相愛中学校・高等学校 IAC 会長 笠 真菜

2017-18年度インターアクト新入生歓迎会は、例年と異なり「新たな地域の魅力を探しながらインターアクターの親睦をはかる」を目標に掲げました。ロータリアンの方々に付き添っていただきインターアクターの皆さんに、大阪の新発見をしてもらう企画でした。当日、配布しました資料に印刷した文章をここにもう一度掲げます。企画から実施に至る思いを書いていますので、もう一度ご覧下さい。

国際都市として発展し続けた大阪は、今や多くの観光客がおとずれるようになりました。インバウンドという言葉も耳慣れてきたように思います。

私たちインターアクターは、奉仕の精神をもってその活動に励んでいます。年ごとに国際交流の機会も与えていただいています。多くの観光客が訪れるこの大阪も、何度も訪れる観光客がいらっしゃる一方、関西には魅力的な観光地があるけれど、まずは京都、神戸…そして余裕があれば大阪、奈良も行ってみようという方もいらっしゃいます。

そこで外国から来られたときに紹介できる場所、また国内の他の地域のインターアクターがお越しになったら、こんな魅力もあると伝えられるようなところを見つけ、その魅力を共有しようというのが今回の副次的なねらいです。

大阪を楽しみながら、インターアクター同士の親睦を深めたいと思います。あまりに大胆な企画に驚かれたり、眉をくもらせる人もいたり、どうなるかなと思いましたが、カメラやipadを持ってきてくれた人、あそこが良いとかポイントを勧めてくれる人がいてワイワイがやがやとできたこともありとても楽しい新入生歓迎会ができました。昼からのプレゼンでは、それぞれが異なるところに出向いたということもあって、同世代から観光案内をしてもらっている気分になり親睦はもちろん良い発見ができたと思えました。

最後になりましたが、お祝いのお言葉を下さいましたガバナーの片山様、ご講評で過分なお言葉を下さいましたガバナーエレクト山本様、また今回出席いただき現地踏査に同道して下さいました多くのロータリアンの方々、顧問の先生方、楽しく歓迎会を支えて下さったすべての地区インターアクターの皆さんにお礼を申し上げます。

インターアクトクラブ新入生歓迎会をふりかえって

相愛中学校・高等学校 IAC 顧問 若生 哲

新入生歓迎会のホスト校に決まったのは、ずいぶん前のことではあるものの「年次大会」ホストの任を終えて、準備にかかったのは、6/3から遡ること年末あたりではなかったかと記憶しています。ただ始めるといっても、何ができるかという企画を練るところからでした。

親睦の会であります。何か刺激になればと考え、会場を学校に据えて東西南北へ移動するのに便利な御堂筋本町駅の真上にあることを生かしたいと考えました。さらに、インターアクトクラブメンバーが現代的課題に取り組む若者の視点を持つべきではないか、一昨年に香港からのインターアクターの来阪対応の経験を踏まえ、この地区に国の内外からお客様がいらっしゃったら私たちはどのようにもてなすのが良いだろうかなどを思いをめぐらせました。私どもは「船場の学校」と呼ばれた歴史があり、情報をも行き来させる近江商人の影響を強く受けた風土の色合いを皆で共有することをもねらいの中に入れ込みました。

その折、思いついた言葉を列挙いたしますと「親睦」「現代的課題」「情報」「共有」そして「交流」というところだったと思います。時代は不可逆的進歩を遂げ、自国に都合の良い国際化から他者ルール依存のグローバル化へスライドし、デジタル技術もまた A.トフラー『第三の波』が予想したところへと進み、今や仕事ばかりでなく学びの質も変更を余儀なくされています。私たちがかつて商都大阪として繁栄をきわめたこの地の魅力を探査し、地域の魅力のイノベーションの基盤を構築すべく、行動してみたいと思いました。今回、訪日外国人が増加していく中で忘れ去られてしまっているようなところ、大阪が日本のみならず世界に誇れるところであるところを再発見したいと願いました。今回の歓迎会を契機に新たな再発見をするための萌芽がインターアクトメンバーそれぞれに宿ってほしいと思いました。

イメージ化のための「適塾と牛痘」についてのプレゼン鑑賞のあと、グループごとに現地踏査に出向いてもらいました。現地の詳しいレポートをはじめ、グループによってはそこでの感想やグループメンバーの表情、ついには食べ物についてのレポートがあるなど愉快で有意義な現地踏査レポートと親睦の会になりました。iphone、ipad などデジタル機器を使いこなすことはもちろんインターアクターたちが大阪の価値をより高めるための力を持ち合わせていることを確認できたのもとても喜ばしいことでした。地区インターアクターの皆さんを誇らしく思いました。最後となりましたが、機会を下さったロータリアンの皆様、協力して下さった顧問の先生方、御礼申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。